

IT系サイトアクティブユーザー像とサイトの活用実態

IT系サイト利用実態調査2007から

■本日の発表内容

1. UU数などからは読み取れない
IT系サイトアクティブユーザーの特徴
2. IT系サイトの利用状況・使用目的

ドメイン別利用者数

...Nielsen Online (ネットレイティングス株式会社)のレポートより

存在感あるIT系サイト

順位	ドメイン	利用者数 (単位:千人)
	:	
33	nhk.or.jp	6806
39	yomiuri.co.jp	5521
54	nikkansports.com	4628
61	fujitv.co.jp	4247
65	mainichi-msn.co.jp	4226
66	tbs.co.jp	4210
67	asahi.com	4069
71	impress.co.jp	3923
72	ntv.co.jp	3865
76	nikkeibp.co.jp	3468
78	tv-asahi.co.jp	3427
80	tv-tokyo.co.jp	3395
86	nikkei.co.jp	3092
97	itmedia.co.jp	2633
103	sanspo.com	2554
108	sponichi.co.jp	2450
	:	

出所: Nielsen Online NetView (ドメインレポート、ホームパネル、2007年4月)より

■調査担当者としての疑問

- 実社会のリーチとネット上のリーチに差があるのはなぜか？
- IT系サイトは、思っている以上に存在価値があるのか？

■目的

誰がどのような目的で、
IT系サイトを利用しているのかを明らかにする

■調査項目

1. IT系サイトアクティブユーザーの特徴
2. IT系サイトの利用状況・使用目的

■告知協力媒体

IT系5社のWebサイト、メルマガで調査を告知

アイティメディア株式会社

株式会社アスキー

株式会社Impress Watch

シーネットネットワークスジャパン株式会社

株式会社日経BP

調査対象 15サイト

【IT系10サイト】

@IT
ASCII.jp
CNET Japan
Impress Watch
ITmedia
ITpro
nikkei BPnet
ThinkIT
ZDNet Japan
キーマンズネット

【IT系以外の5サイト】

goo
Infoseek
msn
Yahoo! JAPAN
Google

} ポータル系サイト
} 検索エンジン

※Yahoo!JAPANは検索エンジン、ポータルサイトの両方に含む。
※調査票では、・・・系という文言は掲示せず、サイト名称のみを用いた。

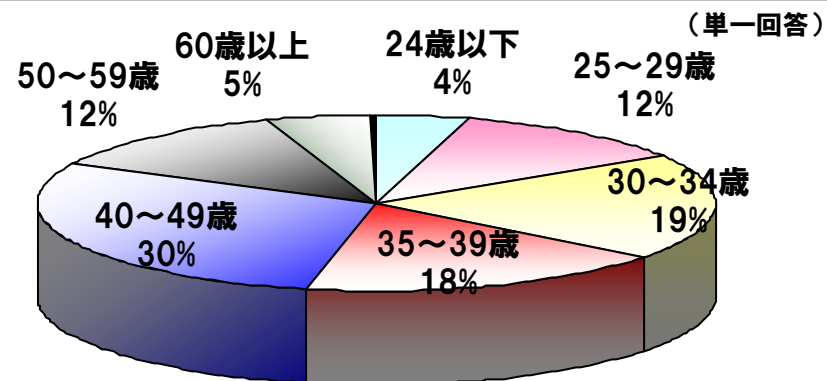
誰がIT系サイトを利用しているのか？

IT系サイトアクティブユーザーの特徴(属性など)

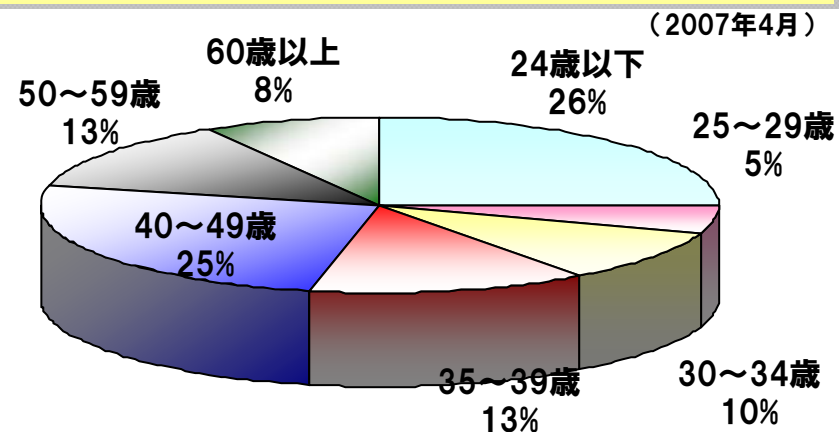
■IT系サイトアクティブユーザーの年齢分布

- IT系サイトアクティブユーザーは
ホームパネル（インターネットユーザー）
に比べ、25～39歳比率が高い
- 40歳以上の割合はほぼ同じ

【IT系サイト アクティブユーザー】 N=3947



【Nielsen Online NetView
(ドメインレポート、ホームパネル)】

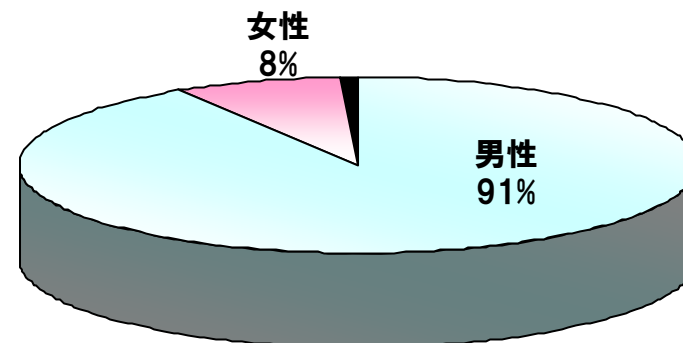


■IT系サイトアクティブユーザーの性別

- IT系サイトアクティブユーザーは男性が9割

【IT系サイト アクティブユーザー】 N=3947

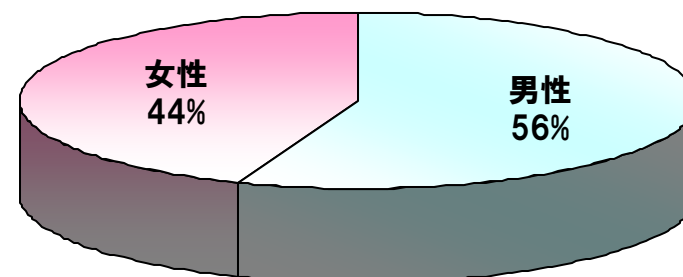
(単一回答)



【 Nielsen Online NetView

(ドメインレポート、ホームパネル)】

(2007年4月)

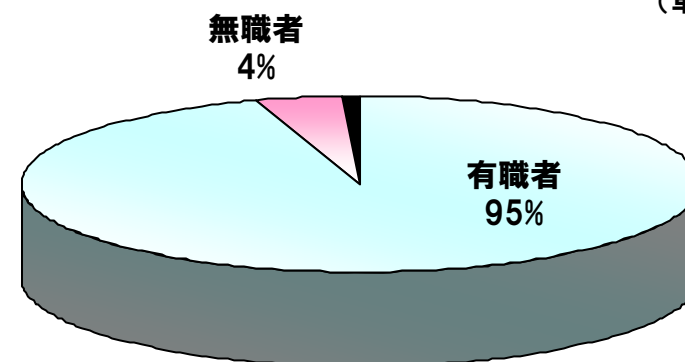


■IT系サイトアクティブユーザーの有職者率

- IT系サイトアクティブユーザーは有職者が95%

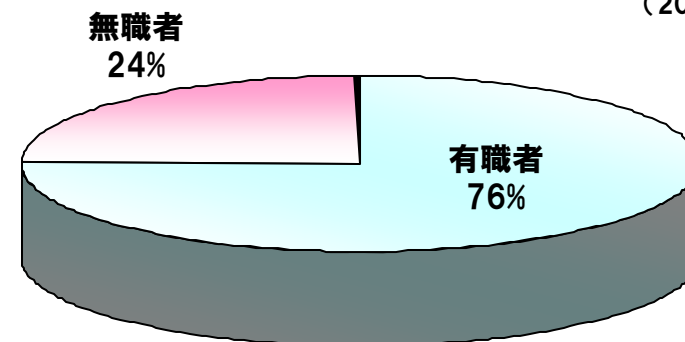
【IT系サイト アクティブユーザー】 N=3947

(単一回答)



【 Nielsen Online NetView
(ドメインレポート、ホームパネル)】

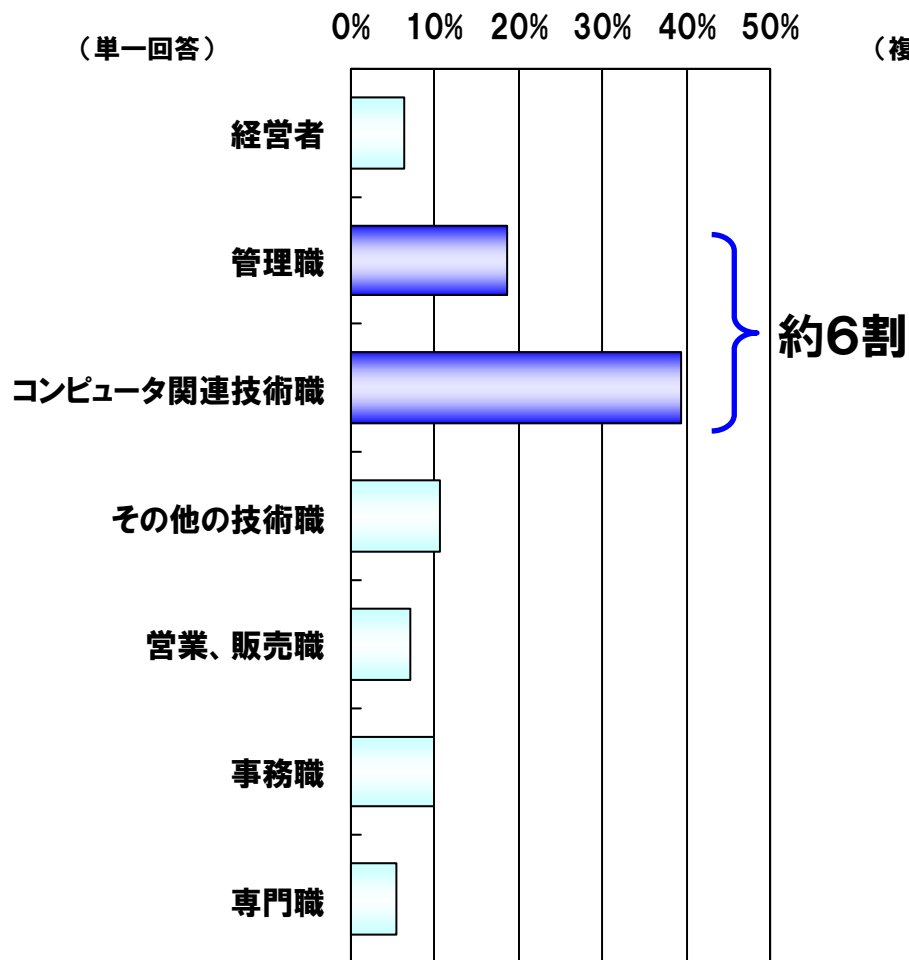
(2007年4月)



■IT系サイトアクティブユーザー有職者の特徴

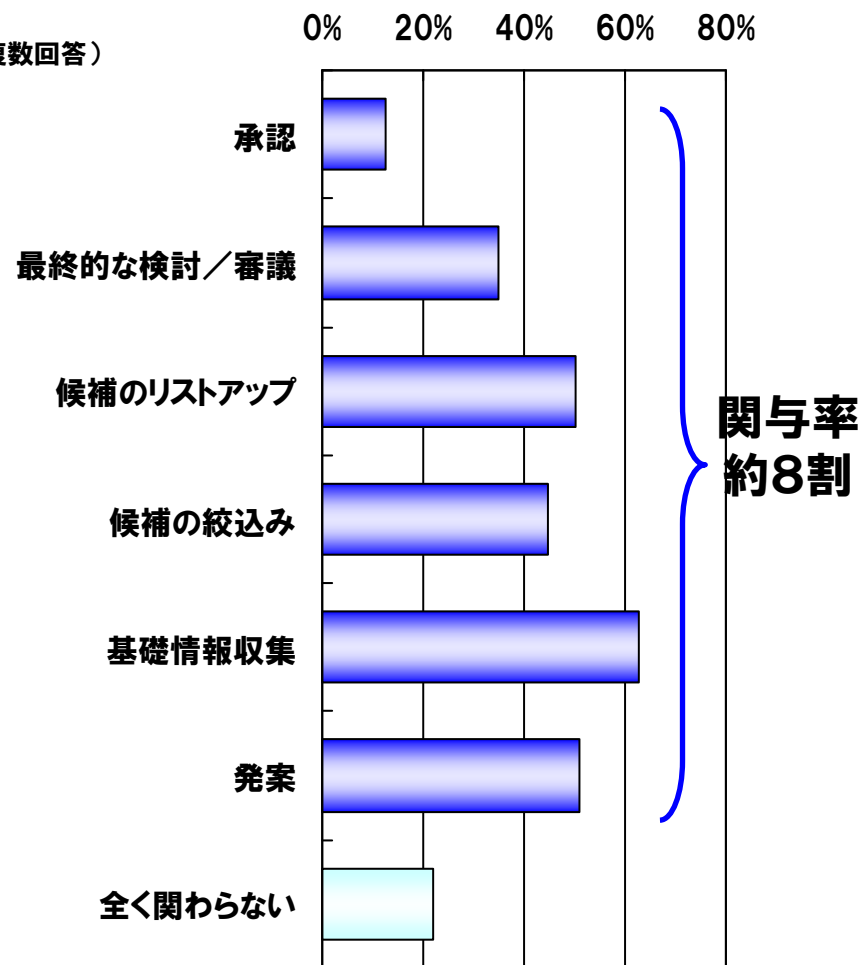
◎職種

(単一回答)



◎製品／サービス導入関与

(複数回答)



IT系サイトアクティブユーザー(有職者ベース) N=3771

IT系サイトアクティブユーザーの特徴

年齢 : 25～39歳比率は約5割を占める

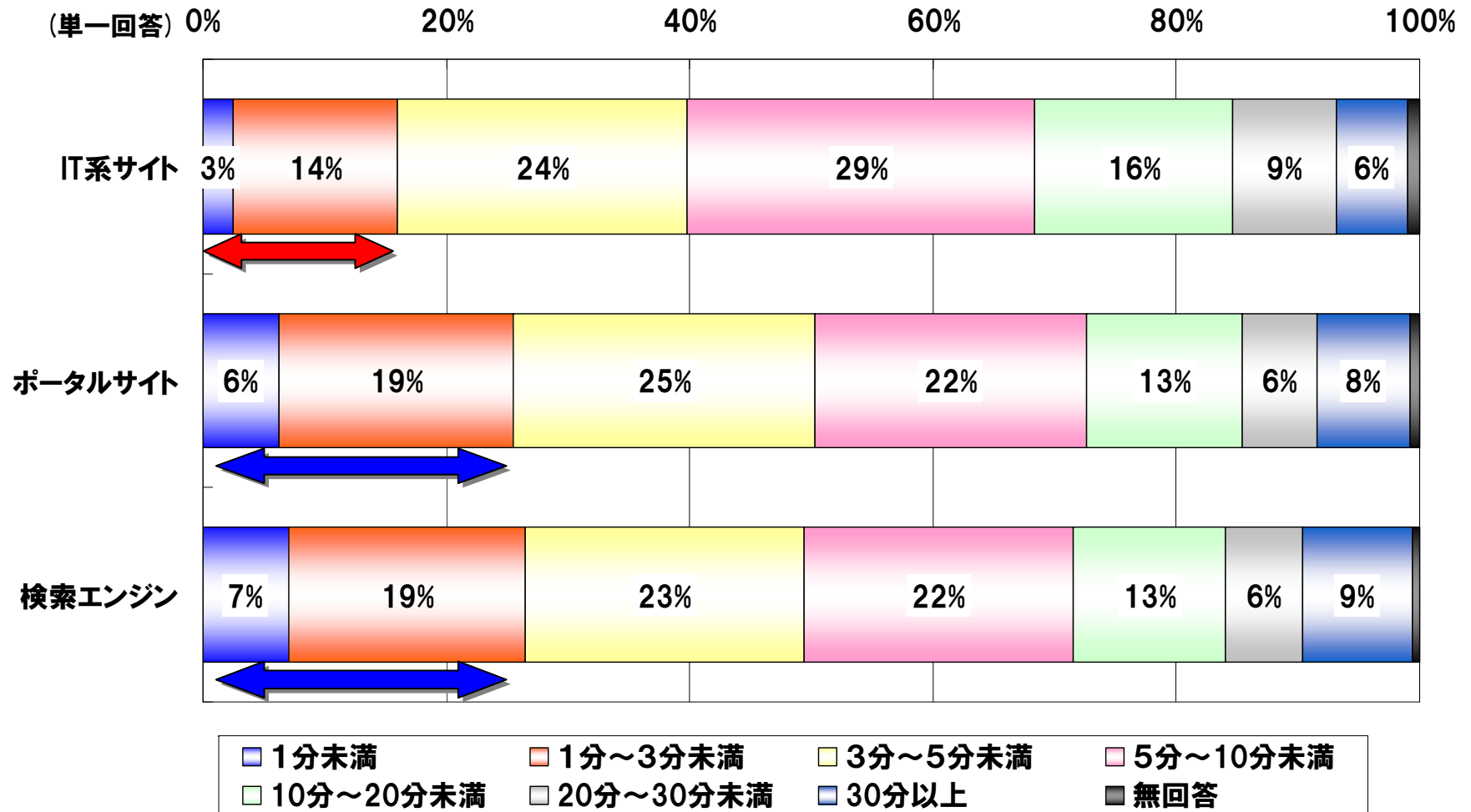
性別 : 9割が男性

職業 : 95%が有職者
*コンピュータ系技術職比率が高い
*製品／サービスの導入・購入関与率が高い

IT系サイトはどのように使われているのか？

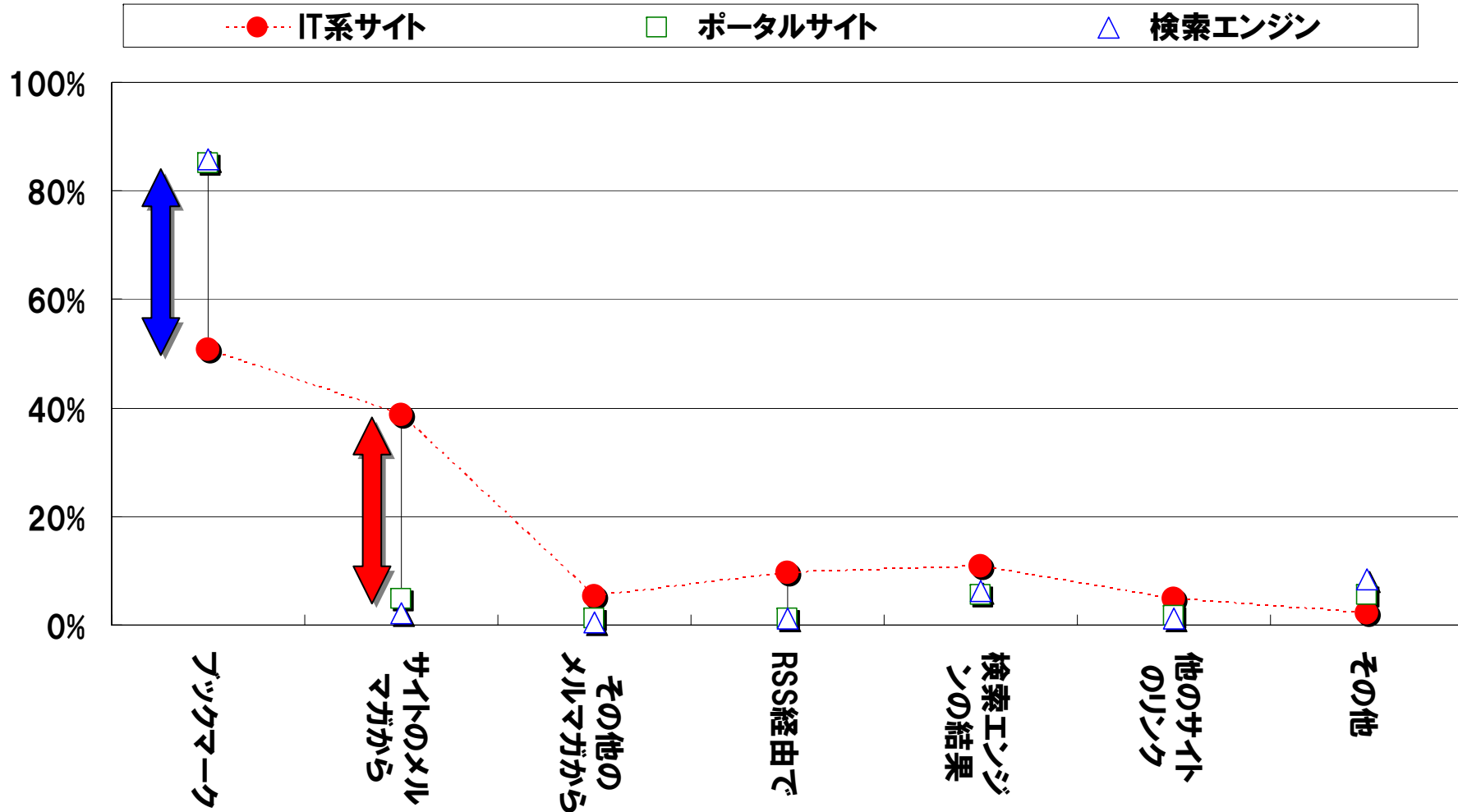
IT系サイトの利用状況・使用目的

■アクセス1回あたりの滞在時間(のべ数集計ベース)



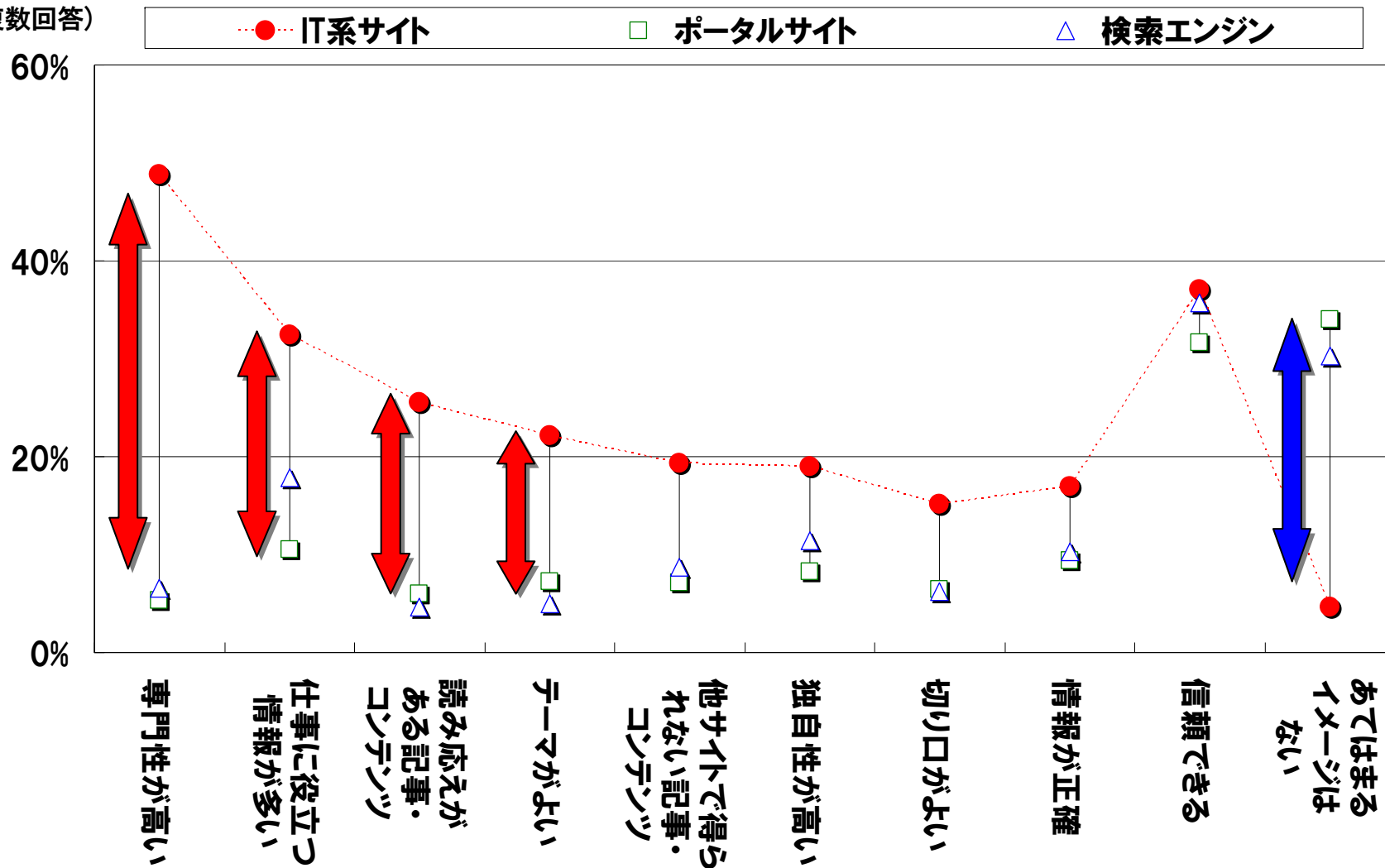
■ アクセス経路(のべ数集計ベース)

(複数回答)



■ サイトイメージ(のべ数集計ベース)

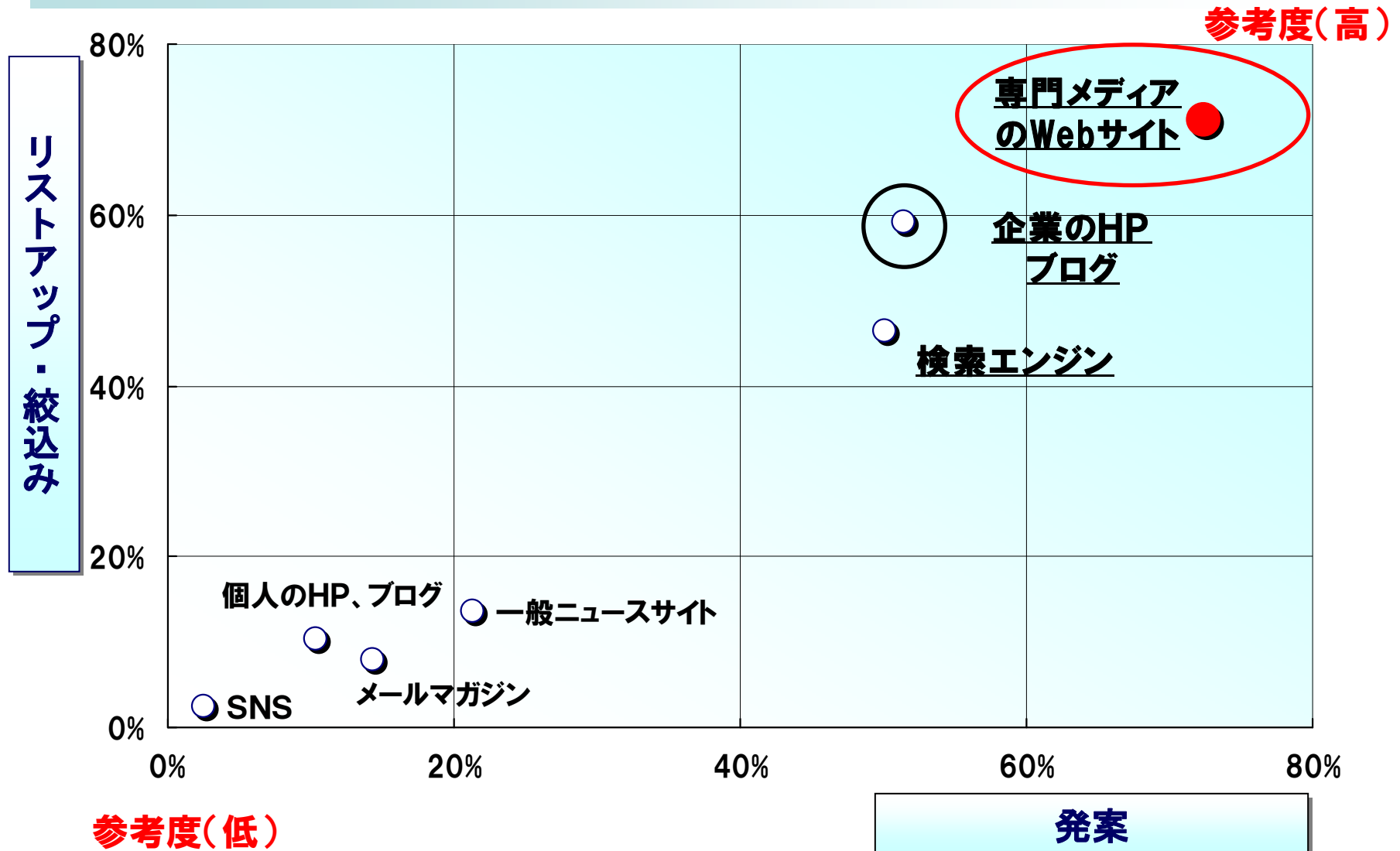
(複数回答)



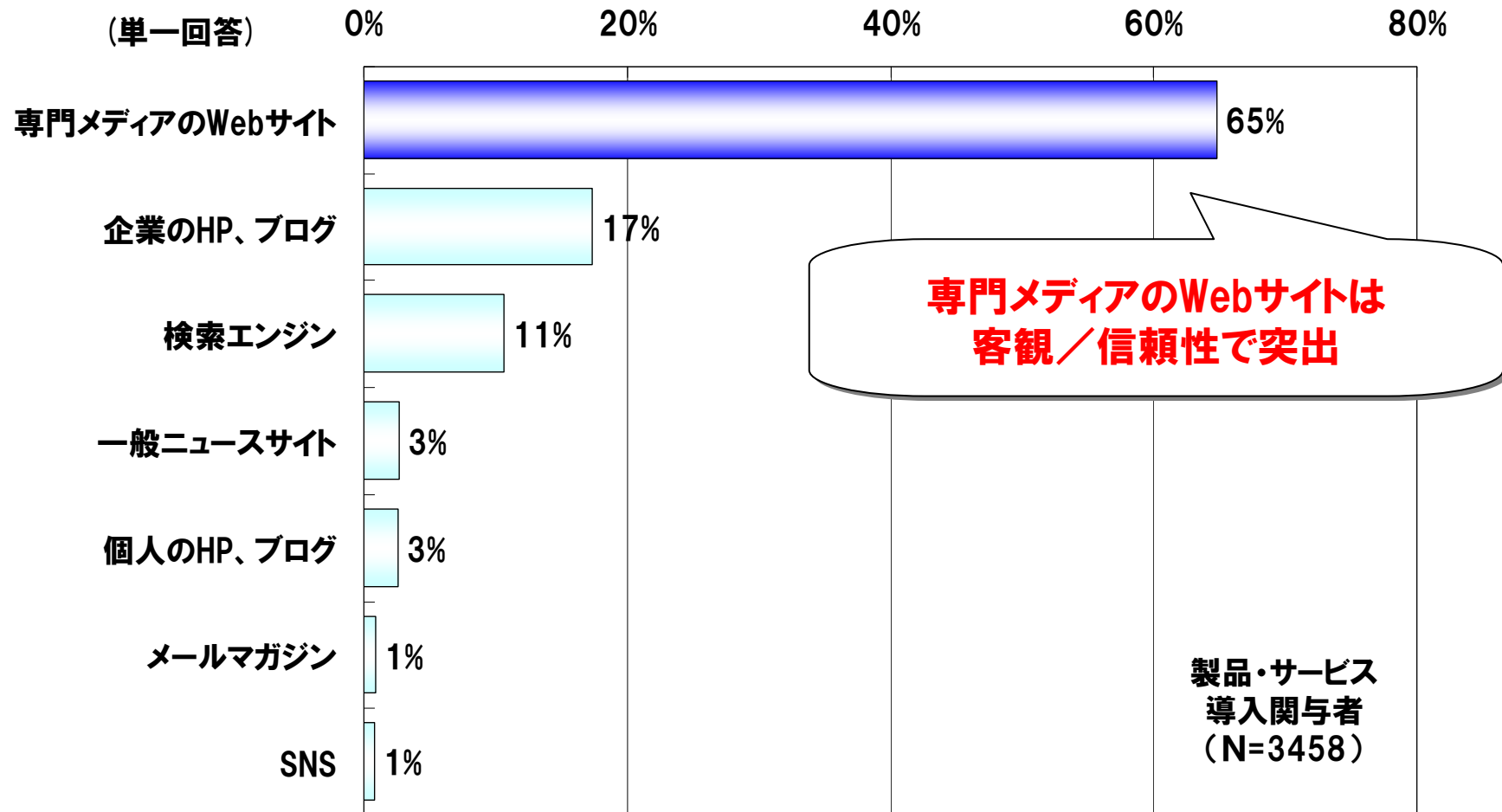
IT系サイトはどう評価されているのか？

IT系サイトの利用状況・使用目的

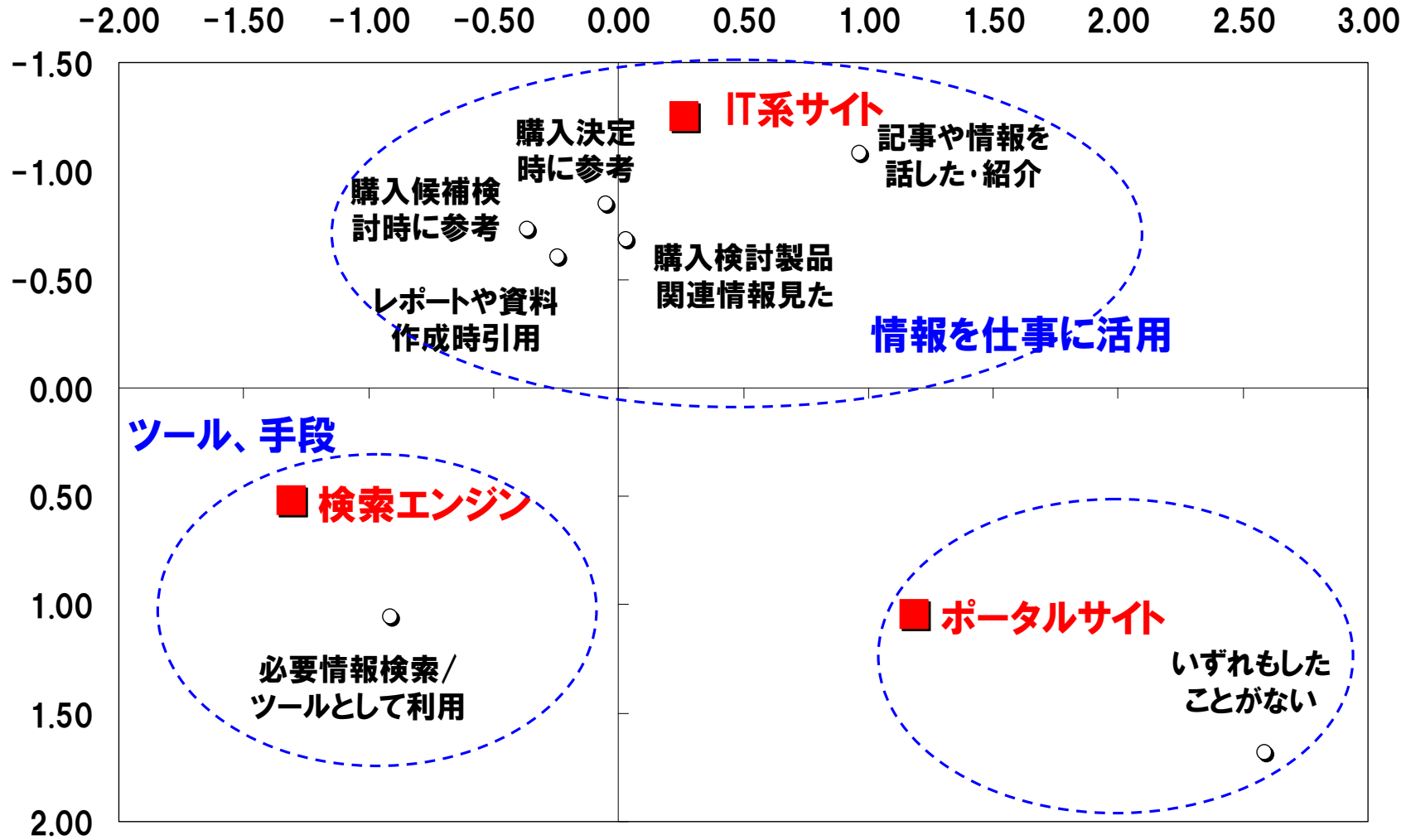
■製品・サービス購入／導入時のネットメディア参考度



■最も客観的で信頼できると思うもの



■情報の活用目的（双対尺度法分析）



◎検証内容

IT系サイトは思っている以上に
存在価値があるのではないか？

◎結論

IT系サイトは、ユーザーから
仕事に役立つ情報として高い信頼を得ている

⇒その結果、アクセス数を獲得

■調査概要

●調査目的

下記(1)、(2)の把握

- (1) IT系サイトユーザーの特徴
- (2) IT系サイトの利用状況、コンテンツ評価・イメージ

●調査方法

Web調査

日経BPコンサルティングのアンケートシステム「AIDA」
(アイダ)上にアンケートページを掲示

●調査告知方法

下記5社のWebサイトやメールマガジンで調査を案内
【5社】

アイティメディア株式会社
株式会社アスキー
株式会社Impress Watch
シーネットネットワークスジャパン株式会社
株式会社日経BP

●回答者謝礼

Amazonギフト券2000円分・・・・・・・・・・250名

●調査タイトル

Webサイトに関するアンケート

●調査対象

5社のWebサイト、メールマガジンユーザー

●調査期間

2007年8月1日(水)～22日(水)

●回収数

5001サンプル

●実施機関

<調査企画・実査>
株式会社日経BPコンサルティング

(協力)

アイティメディア株式会社
株式会社アスキー
株式会社Impress Watch
シーネットネットワークスジャパン株式会社
株式会社日経BP

■集計方法

◎アクセス頻度により、IT系サイトアクティブユーザーを特定し、分析を行った

・IT系サイトアクティブユーザー

下記IT系10サイトのいずれかに「ほぼ毎日」もしくは「週に2～3回程度」アクセスすると回答した人

IT系10サイト:

@IT、ASCII.jp、CNET Japan、Impress Watch、ITmedia、ITpro、nikkei BPnet、ThinkIT、ZDNet Japan、キーマンズネット

◎サイトの利用状況に関してはIT系サイト、ポータルサイト、検索サイトに分類し、有職者ベースに絞り、のべ数で集計を行った。

<IT系サイトユーザー> 下記10サイトのいずれかに「ほぼ毎日」もしくは「週に2～3回程度」アクセスすると回答した有職者

IT系10サイト:

@IT、ASCII.jp、CNET Japan、Impress Watch、ITmedia、ITpro、nikkei BPnet、ThinkIT、ZDNet Japan、キーマンズネット

<ポータルサイトユーザー> 下記4サイトのいずれかに「ほぼ毎日」もしくは「週に2～3回程度」アクセスすると回答した有職者

ポータル4サイト: goo、Infoseek、msn、Yahoo! JAPAN

<検索エンジンユーザー> 下記2サイトのいずれかに「ほぼ毎日」もしくは「週に2～3回程度」アクセスすると回答した有職者

検索2サイト: Google、Yahoo! JAPAN

※Yahoo! JAPAN は検索サイト、ポータルサイトの両方に含む
※調査票では、..系という文言は掲示していない